

1. 科目名（単位数）	心理学的支援法（演習）	3. 科目番号	SPMP3351 PSMP3151
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習（ロールプレイなど）	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学や心理学支援法(基礎)の授業を踏まえることで学習が深まります。		
7. 講義概要	心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは（カウンセリング・マインドと言われる）、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方とあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。		
8. 学習目標	1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法（論理療法）を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	○評価のもとになるレポート課題 演習で体験したカウンセリングという人間関係（ロールプレイング）を通して、自身のコミュニケーションや対人関係を振り返りながら、カウンセリングに対する意見を自身の言葉でまとめなさい。また、心の支援者（たとえば 公認心理師や臨床心理士）は、心理学的支援に対してどのような関わりや態度が必要であるか述べなさい。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】長尾 博著『やさしく学ぶカウンセリング 26 のレッスン』、金子書房（2,000 円+税）		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法（論理療法）を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術(訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等)について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 授業への参加(出席、態度、発言) 50% レポート・発表・確認テスト 50% 以上で評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	カウンセリングという他者との関わりや態度を、授業としての演習(実習)のみで身につけられないことは理解できるはずです。カウンセリングに限らず、心の支援者としてどのように行動し対処すべきかをいつも自身に問う必要があります。それは学生である現在も学びを積み重ねた将来も同じです。自身のあり方と社会への関わりをいつも意識してください。		
13. オフィスアワー	初回講義時にお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	レッスンを始める前に 1 精神分析・来談者中心療法・行動療法・認知行動療法など各種理論と技法ほか	事前学習	教科書の事前確認から授業課題を意識する。
		事後学習	各種のカウンセリング理論や技法を理解し、クライアントごとのふさわしい心理支援をイメージする。
第2回	レッスンを始める前に 2 訪問支援、地域支援、関係者への支援についてほか	事前学習	教科書の事前確認から授業課題を意識する。
		事後学習	心理学的支援は面接室のみではなく、クライアントの生活圏に関わりながらなされることをイメージする。
第3回	レッスン 01-09 自己紹介と他者紹介ほか 会話からの推測、表情と言葉の矛盾ほか	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第4回	レッスン 10-11 役割交換法、分身法	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第5回	レッスン 12-13	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。

	鏡映法、二重自我法	事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第6回	レッスン 14-15 共感と純粋性のレッスン	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第7回	レッスン 16 共感と純粋性のロールプレイ	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第8回	レッスン 17-18 開かれた質問ほか	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第9回	レッスン 19 沈黙に対するリードのロールプレイ	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第10回	レッスン 20-21 繰り返しと明確化のレッスン	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第11回	レッスン 22 繰り返しと明確化のロールプレイ	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第12回	レッスン 23 直面を促すレッスン	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第13回	レッスン 24 直面を促すロールプレイ	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第14回	レッスン 25 支持のレッスン	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる
第15回	レッスン 26 支持のロールプレイ	事前学習	教科書の事前確認から演習課題を意識する。
		事後学習	演習内容を日常生活のなかでも試みる